

令和2年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和2年9月1日（火）13：30～14：15 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、村上環境科学部長、南川工学部長、宮本人間文化化学部長、糸島教授（伊丹人間看護学部長代理）、伴教授、岸根教授、市川教授、八里事務局次長、笹田委員、矢吹委員

欠席者： 甘佐教授、澤委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、寺村学生・就職支援課長補佐、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長、塚本参事、杉田課長補佐、堀江主査

令和2年度第3回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

- 1 公立大学法人滋賀県立大学教員の発明等に関する規程の一部改正について
土淵地域連携・研究支援課長より資料に基づき説明があった。審議の結果、原案のとおり承認され、令和2年10月1日から施行することとされた。

報告事項

- 1 新型コロナウイルス感染症にかかる危機対策本部本部員会議について
青木副理事長より、資料に基づき報告があった。
- 2 WEBオープンキャンパスの開設について
郡田教務課長より、資料に基づき報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・360度キャンパス動画が良かったと思うが、WEBオープンキャンパス終了後も動画は残るのか。
→WEBオープンキャンパスの公開は一旦2月末頃までと考えている。動画を残すかどうかはその後検討する。
 - ・対面のオープンキャンパスが再開しても、WEBオープンキャンパスの方も毎年充実させていったらいいと思う。
 - ・WEBオープンキャンパスのサーバは学内にあるのか。閲覧やWEB出願でアクセスが集中しても大丈夫か。
→サーバは学内にあり、WEB出願については検証済みである。WEBオープンキャンパスは初めてなのでアクセス数がわからない部分はあるが、相当数は耐えられると考えている。
 - ・後期も遠隔授業となる可能性があるが、学内回線の増強予定はあるか。
→学内回線を10GBにする計画で県と協議中である。
- 3 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 第28回理事長選考会議
 - (2) 令和2年度第1回人権問題委員会
 - (3) 令和2年度第5回衛生委員会

- (4) 令和2年度第2回教務委員会（書面開催）
- (5) 令和2年度第5回入学試験委員会
- (6) 令和2年度第4回国際交流委員会
- (7) 令和2年度第2回発明委員会

その他

[主な意見・質疑等]

・国際交流委員会、入試委員会などではコロナ対策が話し合われているが、教務委員会は書面開催であり、授業に関することは危機対策本部本部員会議において決定されているのはなぜか。

→教務委員会で発案し、学部を持ち帰ってもらって意見を聞くというのは時間がかかるので、授業の方法など迅速に決めなくてはいけない内容は本部員会議で決定した。今後は来年度のことやウィズコロナの体制を決めていく時期なので、9月には対面での開催が必要だと考えている。

→前期は対面で通常の委員会を開催することが憚られる状況だった。一方で大学としての方針を迅速に決定する必要があるため本部員会議を招集した。また、いろいろなルートで意見が上がってくると收拾がつかないため、学部の意見は学部長が集約して本部員会議に上げてもらうという形にした。今後は時期を見て、本部員会議から既存の委員会等へ少しずつ議論が移行していくものと考えている。